

FULL HEIGHT DOOR® フルハイドア®

施工手順書

遮音キット

遮音キット



施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、軀体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□遮音キット

forステルス枠

施工手順書2019/3更新

■ 製品及び同梱内容の確認

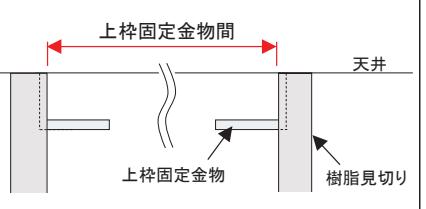
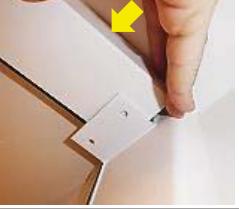
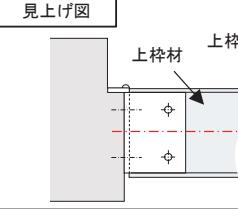
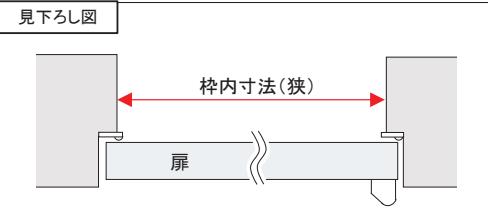
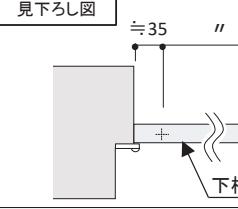
- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

造作材			上枠材	下枠材
部材	数量	備考		
遮音キット	1式			
枠材	1式			
セット毎に梱包				
			1本	1本
			2本	1本
			1本	1本
			2個	16本

□遮音キット

forステルス枠

施工手順書2019/3更新

1 上枠材の取付け	
① 上枠固定金物を天井と樹脂見切りに当ててください。 下穴（φ2mm程度、深さ約5mm）を開け、同梱ビスで縦枠上部に取り付けてください。 次に、上枠材を上枠固定金物間に合わせてカットしてください。	  
	上枠固定金物を天井と樹脂見切りに当てる 下穴を開けてから同梱ビスで固定する 上枠材を上枠固定金物間に合わせてカットする
② クロスを傷つけないように注意して、上枠材を上枠固定金物に差し込み位置を合わせてください。 上枠材に下穴（φ2mm程度、深さ約5mm）を開け、同梱ビスで固定金物にビス止めしてください。	  
	上枠材を固定金物間に差し込む 上枠材を上枠固定金物の中心に合わせる 下穴を開けてから同梱ビスで固定する
注意	※上枠固定金物及び上枠材を取付ける際は、下穴を開けてからビス止めしてください。 ※ビス止めする際は、電動ドライバーでクロスを傷つけないように十分に注意して行ってください。 ※上枠固定金物を取付ける際、向きに注意して取付けてください。内側に皿加工がされている面が縦枠側になります。
2 下枠材の取付け	
① 床部の枠内寸法（狭）に合わせて下枠材をカットしてください。	
	床部の枠内寸法（狭）に合わせて下枠材をカット
② クロスを傷つけないように注意して、下枠材を両側の樹脂見切りに当ててください。 下枠材の両端から約35mm、中間部は約350mmピッチ以下の均等割りで同梱ビスで床にビス止めしてください。	 
	下枠材を両側の樹脂見切りに当てる 下枠材の両端から約35mm、中間部は約350mmピッチ以下の均等割りで同梱ビスで床にビス止めする
注意	※下枠材を取付ける際は、下穴を開けてからビス止めしてください。 ※ビス止めする際は、電動ドライバーでクロスを傷つけないように十分に注意して行ってください。

□遮音キット

forステルス枠

施工手順書2019/3更新

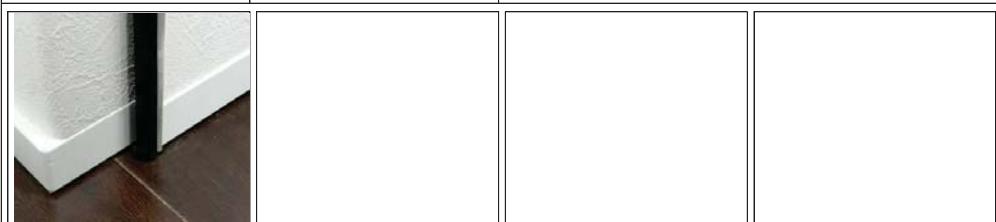
3 戸先側縦枠用タイト材の取付け

① 戸先側取付け

戸先側の樹脂見切りの軟質部を切り落としてください。
まず戸先側縦枠用タイト材（フの字型：天井用と同じ）に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。
次にタイト材の上端を天井に当て、長手方向は樹脂見切り端部に合わせて貼り付けてください。
最後に、タイト材を床面に合わせてカットしてください。



戸先側樹脂見切りの軟質部を切落す
剥離紙を剥がす
タイト材を図の向きで、上端は天井に当て、長手方向は樹脂見切り端部（赤丸部）に合わせ、貼り付ける



タイト材を床面に合わせてカットする

注意

※樹脂見切りの軟質部は、しっかりと削ぎ落してください。軟質部が残っているとタイト材が上手く貼れず、後で剥がれる恐れがあります。
※樹脂見切りの軟質部を切るときは、クロスを傷つけないように注意してください。
※タイト材の貼付け向きに注意してください。
※タイト材はしっかりと貼り付けてください。タイト材が後から剥がれないように、指で押さえ付けて接着させてください。
※タイト材は継ぎ足し等せずに、一本物で貼付けてください。

4 吊元側縦枠用タイト材の取付け

① 吊元側取付け

吊元側縦枠用タイト材（への字型）に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。
タイト材の上端を上ヒンジ受金物に当て、長手方向は樹脂見切りに当て、縦枠（クロス面）に貼り付けてください。
最後に、タイト材を下ヒンジ受金物に合わせてカットしてください。



剥離紙を剥がす
タイト材を図の向きで、上端は上ヒンジ受金物に当て、長手方向は樹脂見切りに当て、縦枠（クロス面）に貼り付ける
タイト材を下ヒンジ受金物に合わせてカットする

注意

※タイト材の貼付け向きに注意してください。
※タイト材はしっかりと貼り付けてください。タイト材が後から剥がれないように、指で押さえ付けて接着させてください。
※タイト材は継ぎ足し等せずに、一本物で貼付けてください。

□遮音キット

forステルス枠

施工手順書2019/3更新

5 天井用タイト材・床用タイト材の取付け

①

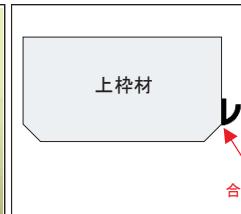
【天井側取付け】

天井用タイト材（フの字型：戸先側縦枠用と同じ）に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

タイト材は上枠材の扉が当たる面の面取り部に合わせて貼り付けてください。



剥離紙を剥がす



タイト材は上枠材の扉が当たる面の面取り部に合わせて貼り付ける

戸先側

吊元側

②

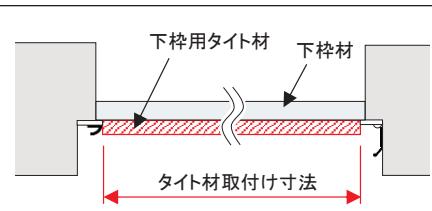
【床側取付け】

床用タイト材（D型）の両面テープの剥離紙を剥がしてください。

床用タイト材は樹脂見切り間に合わせて、下枠材の扉が当たる面に貼り付けてください。



剥離紙を剥がす



床用タイト材は樹脂見切り間に合わせて、下枠材の扉が当たる面に貼り付ける

注意

※タイト材の貼付け向きに注意してください。

※タイト材はしっかりと貼り付けてください。タイト材が後から剥がれないように、指で押さえ付けて接着させてください。

※タイト材は継ぎ足し等せずに、一本物で貼付けてください。

6 扉下端用タイト材の取付け

①

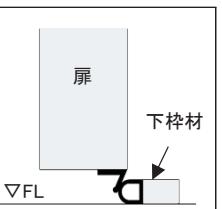
【扉下端側取付け】

扉下端用タイト材（L型）に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

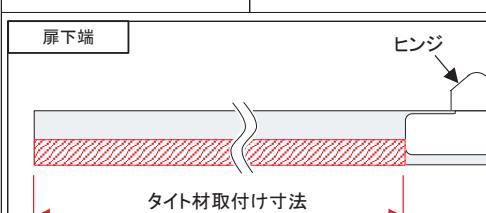
ヒンジと反対側の扉面に合わせて、タイト材をヒンジ受金物のプレート端部から戸先部まで貼付けてください。



剥離紙を剥がす



タイト材貼り付け位置
位置関係



扉下端用タイト材取付け位置

注意

※タイト材の貼付け向きに注意してください。

※タイト材はしっかりと貼り付けてください。タイト材が後から剥がれないように、指で押さえ付けて接着させてください。

※タイト材は継ぎ足し等せずに、一本物で貼付けてください。